



ふくおか市民政治ネットワーク

Citizen Politics Network of Fukuoka



発行責任者 共同代表/清水倫子・豆田優子 〒811-3431 宗像市田熊 2-1-1 TEL 0940-51-3440 E-mail kenfn@fnet.gr.jp HP https://www.fnet.gr.jp

ジェンダーギャップ指数 118位 ~いつまでも変わらないガラパゴス日本~

国連からの勧告

11月に国連の女性差別撤廃委員会が日本政府に女性政策の改善を勧告する「最終見解」を公表しました。教育、健康、政治、経済の4つの分野で算出されます。特に政治分野での遅れは顕著で、国会で女性議員が少ないことにも懸念を示しています。

先回の衆院選では、過去最多となる73人の女性が当選し、割合も15.7%で最高を更新しましたが、人口の半数が女性であることを考えれば、まだまだの数字です。

女性の政治参画を進めるために

議会における性別均等を実現するために、最も効果的で速攻性のある手段はクォータ制の導入です。クォータ制とは割当制の意味で、女性、あるいは両性に対して一定の比率の枠を設けることです。女性割合が増えた諸国は法的な制度を取り入れています。現在の日本の選挙制度では女性が議員になるためには様々な障壁が存在します。議員になるためには資金、時間、家族の理解といったことが必要ですが、特に女性はこれらの資源の獲得が困難な状況に置かれています。

議席割当制	憲法又は法律のいずれかにより議席のうち一定数を女性とする制度	17か国が導入
候補者クォータ制	議員の候補者名簿の一定割合を女性が占めるようにすることを憲法または法律のいずれかにより定める制度	34か国が導入
政党による自発的なクォータ制	政党が党の規則等により、議員候補者の一定割合を女性とすることを定める制度	52か国が導入(うち政党による自発的クォータ制のみを導入する国は36か国)

生活って政治

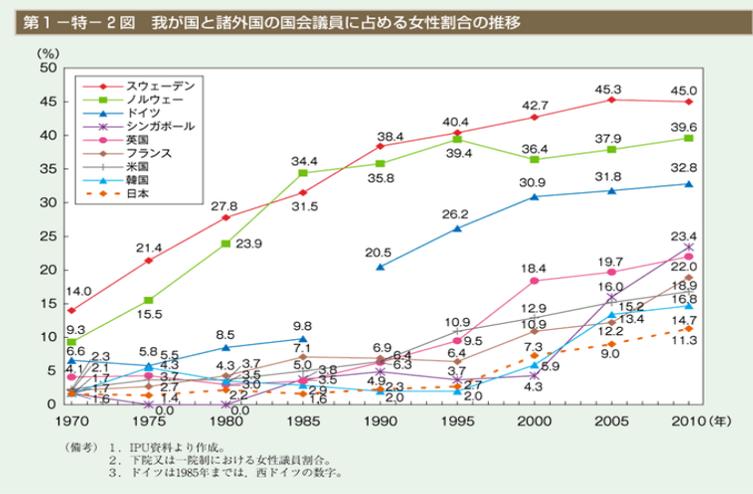
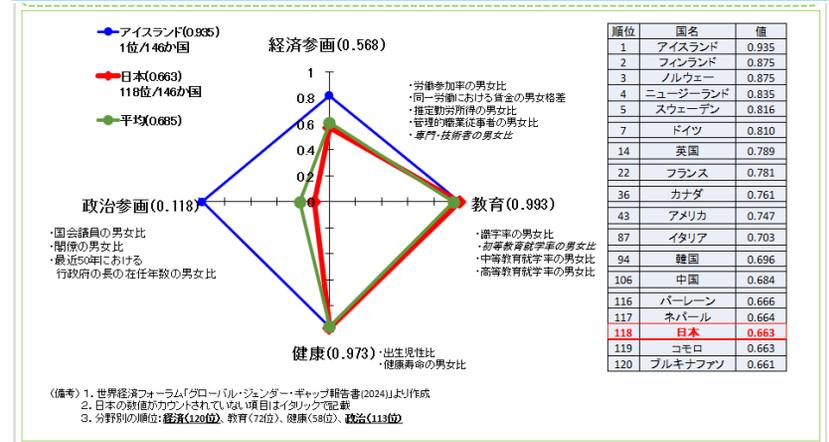
ふくおか市民政治ネットワークは、暮らしの中で感じる様々な課題を直接声にして届けたいと1989年3月に那珂川町議会議員選挙に初めて挑戦し、「生活って政治」を合言葉に34年間、福岡県内で女性議員を増やす活動を代理人・ネットワーク運動という手法で続けてきました。

活動は議員報酬からの寄付と、市民からの会費と寄付で行い、お金の使い道はすべて公開しています。一括管理というやり方で議員報酬の異なる地域自治体でも平等に活動が継続できるようにしています。政治とお金の関係を変え、資金を持たない女性たちが立候補することを可能にする仕組みづくりもしてきました。

女性がつくるあたらしい政治

私たちは「地方議会から政治を変えよう」と議会に代理人(議員)を送り出すだけでなく、その代理人とともに考え行動する人を広げることで政治文化を変えてきています。普通の市民が政策決定の場に参画することで地方議会を変えていくことは、国の政治も変えていくことにつながると考えます。これが代理人・ネットワーク運動で進める新しい政治です。

ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2024年



罰則付きのクォーター制導入した国は女性議員が増えています。

未来を人まかせにしない！ 暮らしと政治を結んで未来をつくります。

ふくおか市民政治ネットワーク
公認候補 稲生まりこ
那珂川市議 2期目に挑戦！



私たちの生活の問題は自分たちで解決の道を見つけた。大切な日常を人任せにしたい。みんなで作ります、私たちの政治。

田中るみ子当選！
2024年10月宗像市議会議員選挙
2106票 7位で当選しました。
誰もが生きやすいまちをめざしていきます！

